

ひびき

教育目標：「なかよく かしく たくましく」
3本柱：さわやか挨拶 聞き方・話し方名人 いきいき運動

多治見市立共栄小学校 H29. 5. 31

「子どもたちの願いを応援したい」

校長 楯 明夫

5月が終わります。子どもたちも元気に明るく登校してくれています。様々な活動を通して問題と向き合いながら、自ら解決し、より良く成長していくことが何より大切だと考えています。

先日、6年生の委員長と給食と一緒に食べる機会をいただきました。共栄小学校のリーダーとして、より素晴らしい学校にしていって欲しいという期待を伝えたかったこともあり、6年生の先生にお願いし実現しました。

児童会の仕事は楽しい？と聞くと、楽しいと答えた子、日常の一部と答えた子、様々でした。各委員会活動の問題点を訊ねると、それぞれの委員長は、ちゃんと問題意識を大人以上にもち考えていることがわかりました。例えば、

「あいさつは、あいさつ運動の時はしてくれるけど、日常では、あいさつしても素通りされてしまう。」

「あいさつの意味がわかっていないのかもしれない。」「めんどくさいのかもしれない。」

などたくさん話してくれました。どうすればいいの？と問うと、

「あいさつした人の数を数えるんじゃなく、あいさつされた人の数を数えてみたら…」

と子どもらしい、具体的な方法まで話してくれました。それが良いかどうかは別として、あいさつを増やしたいという気持ちの表れであると同時に、子どもたちが、様々な願いをもって活動してくれていることに頼もしさを感じました。

楽しいひとときを過ごしながら、子どもたちが願っていることが実現するよう努力し、その努力が誇りにつながるよう応援したいと強く思いました。

憲法9条の改正、共謀罪、何かと話題になっています。国民の幸せが願いであるという大前提のもと、十分議論して欲しいし、本当は私たち自身の問題として考えていかななくてはならないことです。賛成、反対、主体的に私たちは意見を述べる権利をもっているところが民主主義の素晴らしさだからです。

同様に共栄小学校の子どもたちが皆笑顔で楽しく過ごせるように選ばれたリーダーたちもつ願いと実現させるための方法、そのことに積極的に自分の考えをもてるよう民主国家の一員として一人一人の子どもたちを育てていくことが大切です。

今「心」が何のために動いているのか、子どもたちの願いや気持ちを聞き取りながら、仲間と共により良く生きていくためにはどうしたら良いのか共に考え、判断させ、行動させ、応援できる大人でありたいなどと共に給食を食べながら考えていました。ご家庭でもそんな立場で子どもたちの活動を応援してくださるとありがたいと思っています。

